

図書館だより

第76号

宮城県一迫商業
高等学校図書
視聴覚委員
〒987-2308
宮城県栗原市
一迫真坂字
町東133番地
TEL0228(52)4112
FAX0228(52)4111

特別寄稿

「言葉の力」言葉は人生を豊かにする」

教頭 加藤 章司

皆さんは自分の意見やイメージなどを相手に伝えるとき、どのように伝えますか。世の中が目まぐるしく変化し、会話や文字など手法はあれども「言葉」で伝えることが最も重要であることは変わらないと思います。

さて、前置きはこのくらいにして、今回原稿を依頼され何を書こうか、何を皆さんに伝えようかを悩みました。なぜなら、私は小さい頃から本を読むことは得意ではないからです。なので「最近読んだ本は何ですか？」という質問が一番困ります。

しかし、こんな私が興味をもって読むジャンルがあります。それは、「名言・格言」を集めた本です。国内だけでなく世界中の偉人や素晴らしい経営者、著名人の方々が発した言葉などたくさんあり、自分が迷ったり悩んだり、苦しんだりしたときに「なるほど」や「たしかに」と心に刻み、前向きにしてくれる、時には答えを導いてくれることがたくさんあります。

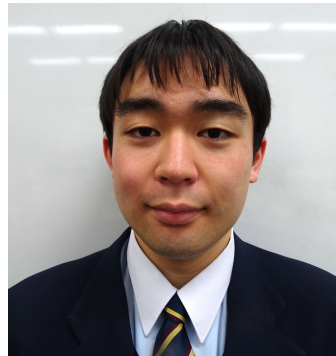
た。以前担任をしていたときに、言葉の面白さを実感したときがありました。クラス全員で『いい言葉はいい人生をつくる（齋藤茂太著）』という本を読んだときです。その本にたくさん「名言・格言」などの言葉がありました。全員が読み終え、「生徒に自分が印象に残る言葉は何か」と聞くと、まったくバラバラな言葉が挙がりました。人の印象に残る言葉は、その人の性格や感情などによって変わってくるのです。だからこそ、相手に伝えるということは、非常に難しく、多くの言葉を知らなければならぬのです。これら多くの言葉によって話の内容や意見を相手に伝え、時にはその後の人生に大きな影響を与えることがあります。

では、それらの言葉はどこから得るのでしょうか。テレビや映画、ユーチューブなどのSNS、また、人と人とのコミュニケーション（会話）から得ることもあるでしょう。ただこれらには、自分が好

きな分野に偏ってしまい、また視覚からの情報も加わることで言葉の認識が低くなってしまいうことがあります。是非、これを機に『読書』に挑戦してみてください。読書の大切なメリットとして、文章を読んでいくと普段自分が使わなような文章や上手な言い回しと出会うことがあります。また、知らなかった漢字や言葉が出てくるので、その言葉を調べることで知識とボキャブラリーが増えます。他にも、文字から風景や背景、登場人物の感情や思想を想像することで日常でも相手のことを考えてコミュニケーション（会話）することができるようになります。そして読書で得た多様な知識や内容は、日常の会話の中での相手との情報交換や意見（イメージ）を伝えることに必ずプラスになっていくでしょう。

『いい言葉は、いい人生をつくる』人生を豊かにするためには、自分の言葉に自信と責任を持って良い言葉を発することで、いい人生というものを実感できるようになると思います。是非、いい言葉を探しに図書館に行ってみてはどうでしょうか。『言葉の力』言葉は人生を豊かにする』

図書視聴覚委員長として
三年二組 佐藤 榛



私は一年生から三年生まで、図書視聴覚委員会に所属しました。二年生の時は副委員長を務めました。石楠花祭ステージ企画の「ビプリオバトル」では司会を担当しました。盛り上がるように頑張ったのが良い思い出です。

今年も、他にも様々なことを行っていくかと思いきや、委員長を引き受けました。副委員長の時よりも挑戦する気持ちが強くなりました。

生徒総会では、全校生徒の前で活動報告をしたり、芸術鑑賞会では演者さんへの花束贈呈をしました。もちろん、今年も石楠花祭で、ビプリオバトルの司会をしたり、新聞スクラップコンクルールの作品展示もしました。

それにもかかわらず、今年も図書館への来館者数や、貸出冊数が増えることはありませんでした。

図書館には本他に、将棋や囲碁、かわいいぬいぐるみなどが置いてありますので、息抜きにでもいのでご来館お待ちしております。

委員会活動紹介

図書視聴覚委員会では、曜日ごとにカウンター当番を決め、蔵書整理や管理を行っています。当番の時に、教室に並べるHR文庫の本選びや、図書館付近へのポスターの貼り替え等も行っています。ポスターの貼り替えでは、皆が見やすい、そして少しでも興味を持ってもらえるようにと、貼る場所等を工夫してきました。蔵書管理では、新規の本への蔵書印押印やブックコート『返却日記入用紙』の貼り付け、それらの本の排架をしています。

また、石楠花祭の図書館での出し物に使用する飾り作り等も行ってきました。長期休業の前には、HR文庫の不足等がないかを確認・回収をしました。また、時には返却が遅れてしまった生徒への返却の督促もしてきました。

図書視聴覚委員会では、これまで委員長を中心に、様々な活動を行ってきました。これからも、日々様々な活動を行っていきます。皆さんも多くの本を借りて、読んで下さい！

(一年二組 佐藤 海音)



HR文庫の選書

石楠花祭 ☆10月20日(金)～21日(土)☆



ステージ企画のビブリオバトルに、二年二組代表として参加しました。オーディエンス(観戦者)だった昨年とは違って、緊張感に終始圧倒されてしまいました。そのうえ、二番目だった発表順が、当日トップバッターに繰り上がり益々緊張しました。しかし、私よりも運営の方が焦ったと思います。そう思うと意外とスムーズに発表することができ、内心ほっとしました。

今回も企画、運営は図書視聴覚委員会が担当しました。司会やタイムキーパー、マイク係などが頑張ってくれたので、とてもやりやすかったです。

実は私も昨年は図書視聴覚委員会に入っており、その大変さが分かっていたので、企画の段階でサポートに回っていました。

来年はまたこの委員会に戻って益々ビブリオバトルが盛り上がるように頑張りたいと思います。

(二年二組 菅原 愛叶)

昨年は各家庭二名という制限ありの公開でしたが、新型コロナウイルスが二類から五類へ移行したことに伴い、今年は制限無し的一般公開となり、盛り上がりの石楠花祭を迎えることが出来ました。事前準備では、新聞スクラップコンクールの作品の掲示のほかに、雑誌の古本市のセッティングもしました。そして、当日は、多くの人に来てくれました。私の家族も来てくれました。

観覧後、アンケートを書いてももらいました。そのお礼に福引きをしてももらいました。景品にはハロウィンのお菓子和皆で持ち寄ったぬいぐるみなどを準備しました。とても喜んでもらいました。いい委員会活動の思い出になりました。

(二年一組 佐藤 寿々華)



ビブリオバトル バトラ紹介

- 一年一組 佐藤愛美さん
「たとえ祈りが届かなくても君に伝えたいことがあるんだ」 汐見夏衛著
- 一年二組 大内陽太さん
「ゴーストハント」 小野不由美著
- 二年一組 佐々木莉奈さん
「いつだって イルカがそばにいる」 小原田康久著
- 二年二組 菅原愛叶さん
「幸村を討て」 今村翔吾著
- 三年一組 氏家優生さん
「大谷翔平 野球翔年」 石田雄太著
- 三年二組 佐藤晃斗さん
「ケイキ王子の名推理」 七月隆文著
- 三年二組 菅原龍二さん
「ストロベリームーン」 芥川なお著

新聞スクラップ コンクール結果

- 最優秀賞
一年一組 志村 一希さん
- 優秀賞
一年二組 佐々木美空さん
- 優良賞
二年二組 谷津 海翔さん
- 佳作
一年一組 千葉 悠太さん
二年二組 内藤 伶太さん
二年一組 千葉あかりさん

受賞者感想

チャンプ本になって

三年二組 菅原 龍二

まずは、今回ビブリオバトルで投票していただきありがとうございます。私は、今回チャンプ本に選ばれるとは思っていませんでした。ただ、「ストロベリームーン」という本を皆さんに知ってほしいと思いつきました。なので多くの人に『一番読みたい』と思ってもらえて、とても嬉しいです。このビブリオバトルが、少しでも本に興味を持つきっかけになればもっと嬉しいです。その時は真っ先に「ストロベリームーン」を読んでみてください。

受賞にあたって

一年一組 志村 一希

私の書いた記事に賞をもらった事がとても嬉しかったです。自分で興味のある事と思い、選んだ記事だったので、詳しく調べてみると色々なことが分かり、とても難しい問題でした。どこまで考えても正解を出すことのできない問題だとも思いました。だから、正解を出すことではなくて、もっとたくさんの方がこのような問題に興味を持って、一人ひとりがどうしたらいいのかを考えることが、全ての人が生きやすい世界を作っていける近道なのではないかと思えました。

講師 評

昨年度に引き続き、国語科の夏休み課題・石楠花祭展示作品として、全校生徒の皆さんに取り組んで、全発行日の新聞を配布したのと同じ発行日の新聞を配布したので、それらの新聞から記事を選んで人が多くなりました。特に多かったのが河北新報の記事「トイレ制限 最高裁 違法」です。性同一性障害の方のトイレ利用に関する事例が、複数の人の印象に残ったようです。私たちの生活に必要不可欠なトイレをめぐる問題が目に留まったのでしょうか。この問題ひとつとっても、様々な意見があります。これからも、他の人の考えに触れることを意識してください。その中には、納得できる考えもそうでない考えもあります。大切なのは、「納得できない考えと出会ったとき、どうするか」です。納得できなくても、まずは受け止めなければ建設的な議論はできません。皆さんの作品を読むと、友達や家族、知人の意見をしっかりと受け止めて自分の考えを深めている様子が見えがえしました。

今回、新聞活用に関する皆さんの取り組みが評価され、「優秀学校賞」を受賞しました。非常に喜ばしいことです。今後も新聞を通して自分の世界を広げて欲しいと思います。

(国語科 齋藤 萌奈)

◎ 読書のススメ・本の思い出(先生編) ◎



牛木雅也先生

「僕は、総理大臣にはなれない。」

君たちは、勇者になったことがあるか。学者になったことはあるか。パイロットになったことはあるか。もちろん、ないだろう。かくいう私も、もちろんない。人生とは一回であり、一瞬である。経験できることなんか限られている。おそらく、この人生で私は総理大臣にはなれないだろう。でも、総理大臣になった時の責任感や思い、考えを知ることができる。
「愚者は経験から学び、賢者は歴史から学ぶ」歴史とは、『誰かのヒストリー』である。自分が経験できない、考えもつかないことを本の中からは教えてくれる。自分の経験だけで生きていくことはとても貧しく、貧困だ。他人のヒストリーに触れてみてくれ。今の君たちに本当に必要なことが本には詰まっている。



阿部秀也先生

「読書は合法的な『人生のドーピング』」

私は毎月本を買います。給料日の後、最低でも一万円は本に使うと決めています。購入した本はパラパラめくって速読して、面白い本とそうでない本を分けまます。面白い本は精読し、それ以外の本は本棚に入れて必要な時に引っ張り出して読みます。全て合わせると年間一〇〇冊は本を読みまます。
そんな私も高校の三年間で読んだ本は三冊。読書感想文の本だけの読書嫌いでした。教師になると決めた時に読んだたった一冊の本のおかげで、私の人生は大きく変わりました。
読書は「人生のドーピング」です。せっかく生きるなら、目一杯ドーピングして生きた方が得です。人生を変える本との出会いは、意外なところに隠れています。この文章を読んでちよっとでも「本を読んでみようかな」と思った人は、ぜひ一冊、手に取ってみてください。その本が、人生を変える一冊になるかもしれません。



玉手優希先生

「読書は財宝」

「本をよく読むことで自分を成長させていきなさい。本は著者がとても苦労して身に付けたことを、たやすく手に入れさせてくれるのだ。」古代ギリシアの哲学者、ソクラテスが残した名言である。
私はこれまでに、啓発本を読むことで思考法や勉強法など、日常生活に役立つたくさんの学びを得た。まさにソクラテスの残した言葉通りである。今の自分があるのは、過去に読んだ本のおかげと言っても過言ではないだろう。
そんな私が今読んでいる本は、「ネイティブなら小学生でも知っている会話の基本ルール」である。英会話について基礎から学ぶことができ、普段の英語の授業でも活用することができる本である。この本は、夏休みに陽子先生に借りてからまだ読み終わっていない。社会人は忙しいものだと知ったこの一年。生徒諸君、ぜひ高校生のうちにたくさんの本に出会いましょう。

私のオススメ(生徒編)

☆「イルカがいつでもそばにいる」 二年一組 佐々木 莉奈

☆「のぼうの城」 二年二組 菅原 愛叶

☆「たとえ祈りが届かなくても君に伝えたいことがあるんだ」 一年一組 佐藤 愛美

☆「大谷翔平 野球翔年」 三年一組 氏家 優生

☆「イルカがいつでもそばにいる」 幸せを感じたことはありませんか。自分で自分をしばっていることはありませんか？ それは何かを投げだしたいほど辛くはないですか。この本には、そんな辛い気持ちを楽にしてくれるイルカが出てきます。本物のイルカです。いつも自由に元気で楽しそうに泳いでいるのを見るとストレスがどんどん発散され、肩の力が抜けて気持ちに楽になってきます。ぜひ、この本を読んで皆さんも気持ちを楽しんでみてはいかがでしょうか？

☆「たとえ祈りが届かなくても君に伝えたいことがあるんだ」 皆さんの身の回りには、自殺をしてみました、先輩や後輩、家族や親類友達や知人などはいらっしゃいますか？
そこで私がオススメしたい本は、汐見夏衛さんの「たとえ祈りが届かなくても君に伝えたいことがあるんだ」です。この本は、主人公のクラスメイトである鈴木くんが自殺をしようという話です。この本は大切な人を亡くしてしまった人に特に読んでほしい一冊です。

この本は、スポーツジャーナリストの石田雄太氏が、大谷翔平選手を二〇一三年から二〇一八年まで取材してまとめた、五年間の軌跡です。
石田氏はこの本の前に、イチローや巨人の桑田真澄二軍監督、松坂大輔といった有名な選手についての本も出しています。
大谷選手が二刀流を目指したきっかけや、興味深いたくさんエピソードが書かれていて、ますます大谷選手のすごさがわかるので、皆さん読んでみて下さい。

芸術鑑賞会
 演劇「地雷探知犬ニーナ」
 栗原文化会館 令和5年6月29日(木)



今年度は岩ヶ崎高校と合同で、人権・平和をテーマとした、劇団マグネットワールドによる「地雷探知犬ニーナ」という演劇を鑑賞しました。コロナ対策が緩和され、保護者の方も一緒に鑑賞しました。

世界の紛争地帯には今なおたくさん地雷があり、その被害に遭っている子どもたちが後を絶たない現実を知りました。私たちが平和に暮らしている一方で、そのような人がたくさんいるのです。そんな国でボランティアとして協力している方々や、その人達と一緒に地雷を探す「地雷探知犬」のお話でした。笑いあり、涙ありでとても感動しました。

今回、この演劇をおして、世界の現実を知り、今の生活を送れることに感謝しなければならぬと思います。

(二年二組 佐藤 晃樹)

演劇が終わった後のセレモニーも岩ヶ崎高校さんと役割分担をして行いました。お礼の言葉を岩ヶ崎高校の生徒の方が、花束贈呈を本校佐藤榛さんが行いました。今回合同で鑑賞してみても、私はこちらの方がにぎやかで、生徒の交流が深まり、新鮮でいいなと思いました。

(三年二組 氏家 詩音)



花束贈呈の佐藤榛委員長

図書館利用状況

(令和5年度4月～1月)

蔵書数

(令和6年1月31日現在)

NDC (分類)	0類	1類	2類	3類	4類	小計①
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	
書籍数	1,279	631	1,566	2,452	1,419	
						合計 ①+②
5類	6類	7類	8類	9類	小計②	
技術・工学	産業	芸術・美術	言語	文学	9,942	17,289
765	394	1,782	664	6,337		

利用者別貸出冊数上位者

順位	クラス	氏名	利用冊数
1	2-2	遠山 航生	26
2	3-2	高橋 汰一	18
3	3-2	佐藤 榛	17
	3-1	西村 澄承	17
4	2-2	佐藤 流季	15
5	2-1	佐々木 莉奈	10
	2-2	石井 瑠奈	10

クラス別NDC別貸出冊数(HR文庫含む)

学年 組	NDC	0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	計
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術工学	産業	芸術美術	言語	文学	
1年	1組	0	0	0	0	0	0	3	2	0	67	72
	2組	0	2	1	2	0	1	0	9	1	82	98
計		0	2	1	2	0	1	3	11	1	149	170
2年	1組	0	0	2	2	6	0	4	4	0	68	86
	2組	2	2	0	2	1	0	8	1	1	64	81
計		2	2	2	4	7	0	12	5	1	132	167
3年	1組	0	0	0	3	3	0	0	7	0	67	80
	2組	2	0	1	4	15	1	0	0	0	78	101
計		2	0	1	7	18	1	0	7	0	145	181
合計		4	4	4	13	25	2	15	23	2	426	518

貸出冊数上位図書

順位	タイトル	著者・編者	出版社	件数
1	いつだってイルカがそばにいる	小原田泰久	大和書房	5
2	宵物語	西尾維新	講談社	4
3	ある犬のおはなし	Kaisei	トゥーヴアー ジンス	3
	また、同じ夢を見ていた	住野よる	双葉社	3
	よるのぼけもの	住野よる	双葉社	3
	イラスト&図解 知識ゼロでも楽しく読める！ 行動経済学のしくみ	西東社	西東社	3



11人の仲間たち！

☆編集後記☆

今年も無事発行できてほっとしています。寄稿していただいた先生方に感謝いたします。最後に編集に携わった図書視聴覚委員たちの一言感想を紹介します。

図書館に顔を出してあげて。

本を読もうね笑 詩音 榛

三年間やりきりました。 優生

楽しかったです。 寿々華

頑張りました。 莉奈

芸術鑑賞会から暫く時間が空いて思い出すのが大変だった。

大変だった。 晃樹

原稿を書くのが大変だった。 隆仁

大変だった。 海音

原稿を頼む時緊張した。 大成

初めてのことで大変だった。 禮

初めての編集は難しかった。 愛美